

国際会議から 車両ダイナミクスの国際会議 (IAVSD2013)

この会議は、鉄道と自動車の車両力学全般に関する国際学会The International Association for Vehicle System Dynamics (IAVSD) の主催で隔年開催されており、今回が23回目となります。参加者数は242人で、そのうち開催国である中国からの参加が96人と突出しており、以下、日本19人、スウェーデン18人、イギリス16人、ドイツ13人と続いていました。今回発表された論文の内訳を表に示します。論文の採択率は61%とのことでした。発表はメイン会場でのプレナリーセッションに続いて4部屋に分かれてパラレルセッションを行うという形式でした。鉄道分野では、解析モデルの妥当性検証、車輪・



飯田浩平
鉄道力学研究部
車両力学研究室
主任研究員

レール接触幾何、長大編成貨物列車挙動に関する発表が多く、筆者は地震による車両脱線を対象とした、振動台実験と数値解析について発表しました。

テクニカルビジットは中国南車の青島四方カンパニーを訪問しました。研究センターと車両工場が併設されており、研究センターでは最高600km/hの車両試験台や1車両を在姿状態で試験できる気密試験機、500km/hの試験列車などを、工場では高速車両用台車の製造ラインを見学しました。研究に用いているソフトウェアや工場での工作機は国外のものがほとんどでしたが、近い将来、内製の技術で開発・製造を行おうという意気込みが感じられました。



パラレルセッションの様子 青島駅停車中の高速列車「和階号」

表 発表内訳

	鉄道	自動車	計
オーラル	67	45	112
ポスター	58	21	79
計	125	66	191

正式名称：23rd International Symposium on Dynamics of Vehicles on Roads and Tracks
 開催国：中国(青島)
 期間：2013/8/19-23
 主催：The International Association for Vehicle System Dynamics
 開催頻度：隔年
 次回開催予定：2015年8月 オーストリア(グラーツ)
 ホームページURL：http://iavsd13.tplswjtu.com/